

【4 1】北海道南西沖地震津波シミュレーション

(14分52秒) - 映像解説 -

<映像の概要>

映像は、地震により発生した津波の状況を数値計算によりシミュレーションした結果をアニメーションとして記録したものです。

<災害の概要>

平成5年（1993年）7月12日（月）、午後10時17分に、北海道南西の奥尻島付近の海底で起きた地震です。地震が起きてから2～3分後に津波が奥尻町におしよせたとみられ、津波が起きたことを人々に知らせるのも間に合いませんでした。津波の高さが約30mになったところもあったといわれています。この地震によって亡くなったり行方が分からなくなった人198人のうち、ほとんどは津波によるものでした。また、奥尻町の青苗（あおなえ）地区で起きた火災が燃え広がり、地区のほとんどが焼け野原になりました。

<映像の流れ>

映像は以下の流れのとおりです。

見出し	内容
解説 (00:00～00:09付近)	映像全般の解説です。
北海道南西部 (00:10～05:48付近)	北海道南西部の津波のシミュレーションです。
青苗港周辺 (06:00～08:02付近)	奥尻島南端にある青苗港周辺の津波のシミュレーションです。
青苗港周辺大海域 (08:03～10:18付近)	青苗港周辺の広域な範囲での津波のシミュレーションです。
瀬棚港周辺 (10:19～12:32付近)	渡島半島の北西部にある瀬棚港周辺の津波のシミュレーションです。
奥尻港周辺 (12:33～14:52付近)	奥尻島東部にある奥尻港周辺の津波のシミュレーションです。